

成長を続けるナスダック市場における 銘柄選択の必要性



ポイント

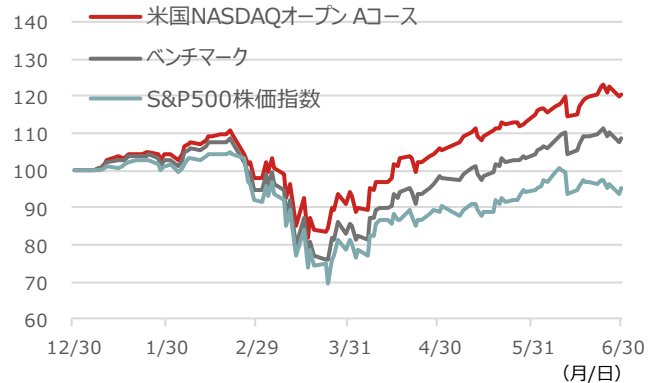
1. ファンドの運用状況
2. 成長を続けるナスダック市場における厳選投資の有効性
3. ナスダック市場において成長が期待される銘柄のご紹介

1. ファンドの運用状況

新型コロナウイルスの感染拡大第2波への懸念は残るものの、世界各国における経済活動の再開、雇用統計や小売売上高等の米国経済指標の改善を受け、米国株式市場は堅調に推移、ナスダック総合指数（以下、ナスダック指数）も史上最高値圏で推移しています。ナスダック市場に上場する企業に厳選投資を行う「米国NASDAQオープン」（以下、当ファンド）のAコースの基準価額も、年初来、ベンチマーク（「ナスダック総合指数（円ヘッジベース）」）やS&P500株価指数を上回る形で推移しています。また、当ファンドAコースの基準価額は、過去5年においても、ベンチマークを13%強上回るパフォーマンスを実現しています。

当ファンドのパフォーマンスが良好な要因としては、銘柄の選択方法にあると考えています。6月17日発行のレポート（以下、前回レポート）では、ナスダック市場（指数）の特性と魅力についてお伝えしました。今回は同市場への投資における銘柄選択の有効性と投資銘柄の紹介を行います。

年初来の基準価額（分配金再投資）推移



期間：2019年12月30日～2020年6月30日、日次

(注1) 期首を100として指数化。基準価額（分配金再投資）については4ページをご参照ください。S&P500株価指数は、ファンドの市場反映タイミングにあわせて算出しています。

(注2) ベンチマークはナスダック総合指数（円ヘッジベース）です。S&P500株価指数はファンドのベンチマークではありません。

(出所) ブルームバーグ、社内データを基に野村アセットマネジメント作成

期間別の基準価額（分配金再投資）騰落率

期間	当ファンドAコース	ベンチマーク
3か月	27.9%	26.7%
6か月	20.3%	8.7%
1年	30.0%	21.2%
3年	68.1%	49.9%
5年	94.4%	81.1%

(注1) 騰落率の各計算期間は当ファンドAコース、ベンチマークとも6月末から過去に遡った期間。基準価額（分配金再投資）については4ページをご参照ください。

(注2) ベンチマークはナスダック総合指数（円ヘッジベース）。

(出所) 社内データを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2. 成長を続けるナスダック市場における厳選投資の有効性

厳選投資における当ファンドの銘柄選定

前回レポートでは、ナスダック市場が時代のニーズを取り込みながら、新陳代謝を繰り返して成長してきた市場であることを説明しました。これは、言い換えると、同市場への中長期投資において、企業の選定が重要であることを意味しています。2015年末時点と本年6月末時点の時価総額上位10社を比較すると4社が新しく登場しています。成長企業をいかにしてファンドに組み入れていくかがパフォーマンス向上の鍵を握ると言えます。

当ファンドにおいては、ナスダック市場に上場する約2,700社から、同市場を上回るような成長性（売上高や利益の伸び）や、収益性（収益率の高さ）のある企業を選定したうえで、安定性（成長性・収益性の維持力）を加味して50社程度に厳選投資し、ベンチマークを上回るパフォーマンスを目指します。このような企業の選定例としては、6月末時点で当ファンドが4位に組み入れており、時価総額上位10社にも登場してきた「アドビ」があります。同社は、紙に印刷して交換・保存していた情報をデジタル形式で行えるようにするためのPDFを作成するソフト『Acrobat Reader』や画像編集・デザインを行うためのソフト『Photoshop』などで有名です。2012年にソフトを売り切る「パソコン用ソフトウェア企業」からサブスクリプション（月額課金）型の「クラウドコンピューティング企業」への転換を開始したことで業績が改善し、2015年に二桁増収を、2016年にはROEが15%超を回復しました。当ファンドでは2015年7月より同社への投資を開始しました。また、エヌビディア、ペイパル・ホールディングスについても同時期より投資を開始し継続保有しています。

掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご注意事項】を必ずご覧ください。

ナスダック総合指数時価総額 と当ファンド組入上位10社

時価総額上位10社		当ファンド組入上位10社
銘柄名	増加率	銘柄名
アップル	169%	マイクロソフト
マイクロソフト	248%	アマゾン・ドット・コム
アマゾン・ドット・コム	334%	フェイスブック
アルファベット	84%	アドビ
フェイスブック	130%	ネットフリックス
インテル	56%	アップル
エヌビディア	1218%	ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ
アドビ	348%	エヌビディア
ペイパル・ホールディングス	363%	アトラシアン
★テスラ	537%	エッツイ

(注1) 上位10社は2020年6月末時点

(注2) 増加率は時価総額の増加率（期間：2015年末～2020年6月末）

(注3) 〇は2015年末時点で時価総額上位10社に入っていなかった銘柄

(注4) ★は当ファンド非保有

(出所) ブルームバーグデータ、当社データを基に野村アセットマネジメント作成

ファンドの投資方針〔銘柄選定〕

成長性

各業界の成長性およびその中で優位性に着目し、経済全体の成長を上回る期待できる企業に注目します。

収益性

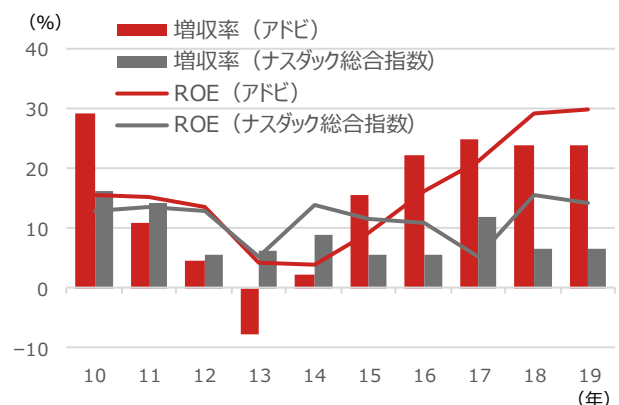
高い収益率を維持している、または収益率の改善が期待できる企業に注目します。

安定性

高い成長性、高い収益性を継続的に達成できる経営力など、企業の安定性に注目します。

(出所) 目論見書より野村アセットマネジメント作成

アドビの増収率とROEの推移



期間：2010年～2019年、年次

・ROE：自己資本利益率

(出所) ブルームバーグデータを基に野村アセットマネジメント作成

3. ナスダック市場において成長が期待される銘柄のご紹介

以下では、ファンドが投資をしている企業の中から将来の成長期待が持てるとの判断で年初（新型コロナウイルス感染拡大前）から投資を行っている2銘柄について紹介させていただきます。

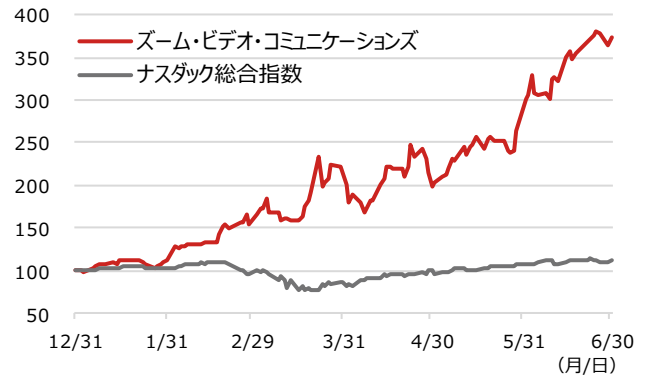
ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ

同社は、パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングをオンラインで開催するためのソフトウェアの開発・提供を行っています。同社が提供するソフトウェアは、他社製品と比べ、画像や音声の遅延が少ないことに加えて、初期投資も小さくて済むことが評価されています。昨年の上場当初から、同社は注目されており、中長期的に利用が拡大する中で、そのペースを上回って成長すると期待されてきました。新型コロナウイルス感染拡大により、あらゆる分野においてビデオ会議システムの利用が急速に増加し、業績は飛躍的に成長しました。新型コロナウイルス収束後も元の状態に戻る可能性は低いと考えられるため、成長は今後も続くと見込んでいます。

エッツィ

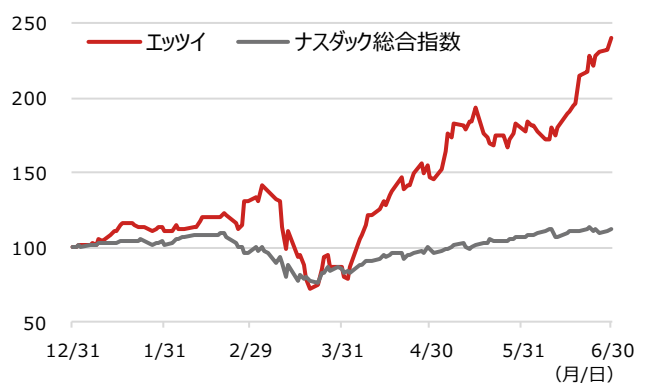
同社は、手芸品などを取り扱うeコマースのサイトをグローバルに展開しています。売り手であるアーティストと買い手である消費者を繋げるプラットフォームとして、アマゾン・ドット・コムなど大手eコマース事業者が捉えにくい分野で成長を続けています。eコマース市場では取り扱われる商品の多様性が一段と増してくると考えられており、同社のようなニッチな商材を扱うプラットフォームが引き続き成長すると期待しております。なお、同社のサイトは今回の新型コロナウイルス感染拡大時においては、個人で作成した手作り布マスクを広く取引することを可能にしたスペースとしても話題になりました。

ズーム・ビデオ・コミュニケーションズの年初来の株価推移



期間：2019年12月31日～2020年6月30日、日次
 (注) 期首を100として指数化。ズーム・ビデオ・コミュニケーションズ、ナスダック総合指数ともに配当込。
 (出所) ブルームバーグデータを基に野村アセットマネジメント作成

エッツィの年初来の株価推移



期間：2019年12月31日～2020年6月30日、日次
 (注) 期首を100として指数化。エッツィ、ナスダック総合指数ともに配当込。
 (出所) ブルームバーグデータを基に野村アセットマネジメント作成

掲載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みの際のご留意事項】を必ずご覧ください。

「米国NASDAQオープン」

ファンドの運用状況

Aコース（為替ヘッジあり）の基準価額の推移

期間：2000年11月29日（設定日）～2020年7月14日、日次



Bコース（為替ヘッジなし）の基準価額の推移

期間：2000年11月29日（設定日）～2020年7月14日、日次



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

<当資料で使用した指数の著作権等について>

●ナスダック総合指数（Nasdaq Composite Index）は、米国のNasdaq市場で取引されている全ての株式を対象とした時価総額加重方式の株価指数です。「ナスダック総合指数（円ヘッジベース）」は、Nasdaq Composite Index（USDドルベース）をもとに、委託会社が独自にヘッジコストを考慮して円換算した指数です。Nasdaq Composite®およびNasdaq®は、The Nasdaq Stock Market, Inc.（以下、その関係会社とともに「ナスダック」といいます。）の登録商標またはサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は、その使用を許諾されています。ナスダックはファンドの合法性および適格性について保証するものではありません。ファンドは、ナスダックによって設定、承認、販売または販売が促進されるものではありません。ナスダックは、ファンドに関して担保責任を負わず、いかなる責任も負担しません。

●S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズファイナンシャルサービシーズエルエルシーの所有する登録商標です。

「米国NASDAQオープン」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目標に運用を行いません。
- 米国のNASDAQ上場株式を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「米国NASDAQオープンマザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 株式への投資にあたっては、成長性、収益性、安定性等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資することを基本とします。
- 株式の実質組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資対象市場が休場等の場合は組入比率を一時的に引き下げることがあります。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行いません。
- ファンドは、以下をベンチマークとします。

Aコース	Nasdaq総合指数(円ヘッジベース) ^{※1}	Bコース	Nasdaq総合指数(円換算ベース) ^{※2}
------	-----------------------------------	------	----------------------------------

※1「Nasdaq総合指数(円ヘッジベース)」は、Nasdaq Composite Index*(USDルベース)をもとに、委託会社が独自にヘッジコストを考慮して円換算した指数です。

※2「Nasdaq総合指数(円換算ベース)」は、Nasdaq Composite Index*(USDルベース)をもとに、委託会社が独自に円換算した指数です。

* Nasdaq Composite Indexは、米国のNasdaq市場で取引されている全ての株式を対象とした時価総額加重方式の株価指数です。

- ファンドは「米国NASDAQオープンマザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、ノムラ・アセット・マネジメントU.S.A.インクに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
◆ 運用にあたって、ノムラ・アセット・マネジメントU.S.A.インクは、委託会社より、情報の提供およびアドバイスを受けます。
- 原則、毎年5月および11月の28日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、基準価額の水準等を勘案して委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

【投資リスク】

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 無期限(2000年11月29日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、5月および11月の28日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スwitchング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2020年7月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.694%(税抜年1.54%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依り異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【分配金に関する留意点】

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。
投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。
分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会/
一般社団法人日本投資顧問業協会/
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

● サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

● ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

米国NASDAQオープン <Aコース/Bコース>

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○	
株式会社十八銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第2号	○			
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○			
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○			
藍澤證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第6号	○	○		
安藤証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第1号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○		○	
いちよし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第24号	○	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○			○
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○	
荘内証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第1号	○			
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第105号	○			○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○		○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第5号	○			
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。